

令和4年5月に発生した農作業死傷事故 7月のワンポイント 農林水産省HP等による公表

タイトル

農作業中の熱中症に注意！
(5月に発生した農作業死傷事故と7月のワンポイント)

<5月に発生した農作業死傷事故:47件>
農業機械作業に係る死傷事故:33件
うち 乗用型トラクター 9件 ほか

その他の死傷事故:14件
うち 水田及びほ場畦畔での転倒、脚立からの転落、各3件 ほか

○5月は19件の死亡事故を含む47件の死傷事故が報告されました。
○報告された事故のうち、機械の整備中に発生した事故が4件含まれていました。作物を取り除くなど機械の調整を行う場合は、面倒でも平らな場所でエンジンを止めて駐車ブレーキをかけましょう。

<7月のワンポイント>
○近年、熱中症による死亡事故が過去最多の水準で発生し続けています。

○過去の事例では、単独作業中に熱中症となり、発見が遅れて死亡したケースも散見されます。やむを得ず高温時に単独作業を行う場合は、十分に水分や塩分を摂り、携帯電話で家族等と30分おきに連絡を取り合うなど、命を守るための対策を行いましょう。

○マスク着用については、屋外等で他の作業者と2メートル以上距離があれば、会話することがあっても着用の必要はないとの考え方が厚生労働省から示されています。ファン付きウェアなどの利用を含め、服装や装具も「熱中症対策」を徹底しましょう。

5月に発生した農作業死傷事故
7月のワンポイント

令和4年農作業安全確認運動
しめよう！シートベルト

農作業中の熱中症対策チェック

熱中症対策アイテムの活用

農作業中の熱中症対策チェック

- 高温時の作業は、避けましょう**
特に70歳以上の方は、のどのかわきや気温の上昇を感じづらくなります。日中の気温の高い時間帯は外して作業しましょう。
- 単独作業は、避けましょう**
なるべく2人以上で作業し、時間を決めて声をかけあったり、異常がないか確認しあうようにしましょう。
- 20分おきに休憩 & 水分補給しましょう**
涼しい日陰などで作業着を脱ぎ、体温を下げましょう。のどがかわいていなくても、20分おきに毎回コップ1~2杯以上を目安に水分補給しましょう。
- 適宜マスクをはずしましょう**
屋外やハウスで人と十分な距離(少なくとも2m以上)が確保できる場合にはマスクをはずすようにしましょう。

万が一に備えて、携帯電話を持って行きましょう。
緊急連絡先や大切な人の連絡先も、登録しておきましょう。



▲ファン付きウェアやネッククーラーなど
身体を冷やすグッズ